1080 (H.28)No. 1080

事務事業評価シート

がん対策事業 事務事業名 担当部局名 担当室名 室長名 福祉子ども部 北森洋司 健康・子育て支援室

	(, ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,		(
	会計区分	事業コード 254601			
	一般会計	(中事業名)※予算書事業名			
款	衛生費	がん対策事業			
項	保健衛生費		(小事業名)		
目	成人保健事業費		がん対策事業		

1. 事務事業の位置付け

主な事業の

実績·計画

総	政 策	1	支え合い健康でいきいきと暮らせるまち
合計	基本施策	2	保健・医療・福祉のネットワークづくり
画	施 策	2	健康づくり
重点プロジェクト(3.生涯	現役プロジェクト

3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

○がん検診等の実施

- •医療機関個別検診
- 集団検診の実施
- •地域と協働で検診実施
- 節目年齢への無料クーポン の配布

〇精度向上の取組

二重読影体制の整備調整

•要精検受診勧奨

受診率実績(暫定)

H28 H27

・胃がん検診:16.3%→17.0%

- ・肺がん検診:22.8%→22.2%
- ・大腸がん検診:32.9%→32.1% ・乳がん検診:21.1%→23.8%
- ・子宮頸がん検診:24.1%→

24 7%

H.28年度(事業量·取組実績) H.29年度(事業量·取組計画)

〇がん検診等の実施

- •医療機関個別検診
- 集団検診の実施
- ・地域と協働で検診実施
- ・受診勧奨個別通知の実施
- 〇精度向上の取組
- 二重読影体制の整備
- •要精検受診勧奨
- •個別検診実施医療機関 チェックリスト調査
- ・まちじゅう元気推進協議会で
- の専門部会を設置し、がん検 診に関する協議の推進

2. 事務事業の概要

(H.29)No.

事業目的(めざす効果)

がんの早期発見、早期治療につなげることで、がん死 亡率を低下させる。

事業内容

肺がん、胃がん、大腸がん、乳がんマンモグラフィー 検診は40歳以上の市民、子宮がん、乳がんエコー検診 は20歳以上の市民、前立腺がん検診は55歳以上の市 民を対象に、医療機関委託と集団検診によって実施。

H.30年度(事業計画)	H.31年度(事業計画)	H.32年度(事業計画)

がん検診等の実 がん検診等の実 ・がん検診等の実 施

		H.28年度(決算見込)		H.29年度(作成時予算額)			H.31年度(計画予	H.32年度(計画予
		H.27繰越分	H.28現年分	H.28繰越分	H.29現年分	算)	算)	算)
①直接事業費			101,188千円		103,170千円	103,170千円	103,170千円	103,170千円
内	国·県支出金		2,006		2,142	2,142	2,142	2,142
訳	地方債							
千円	その他(繰入金ほか)		75,010		79,973	79,973	79,973	79,973
	一般財源	0	24,172	0	21,055	21,055	21,055	21,055
ㅅ ㅜ	職員		0.80人		1.20人	1.20人	1.20人	1.20人
数	臨時職員等		1.21人		1.76人	1.76人	1.76人	1.76人
2	概算人件費	0千円	6,969千円	0千円	10,360千円	11,992千円	11,992千円	11,992千円
1	·②総事業費	0千円	108,157千円	0千円	113,530千円	115,162千円	115,162千円	115,162千円

4. 担当室による事務事業の点検

考察(H.28年度の取組評価、課題、施策への貢献、市民との協働など)

生活習慣病予防重点プロジェクトによるがん予防の啓発、無料クーポンの配布、地域での集団がん検診の実施、また集団検診における先行予 約個別通知等により受診率の向上がみられた。ライフステージに応じた市民の健康づくり、生活習慣病予防の取組のひとつとして、健康長寿社 会の実現に貢献している。地域づくり組織と協働で地域の集団がん検診を実施している。

5. 今後の方向性(担当室による内部評価)

【選択肢】

継続(改善)、継続(現行)、継続(拡大)、継続(縮小)、統合検討、休止検討、廃止検討、事業完了(予定含む)

継続(拡大)

6. 事務事業の取組に関係する市の計画

健康なばり21計画

今後の対応方針(課題解決への取組内容、具体的な見直し内容、継続の理由等)

第3次健康なばり21計画に基づき、生活習慣病予防重点プログラム~ばりばり現役プロジェクト ~の取組を推進する。29年度よりがん検診無料クーポンが全廃となるため受診率に影響が出ることが懸念されるが、受診勧奨の個別通知(世帯ごと通知)を実施し、またあらゆる機会を通じて 定期的受診の重要性について啓発を行う。平成28年度と同様、生活習慣病予防重点プログラム ~ばりばり現役プロジェクト~の取組を推進する。